

2020年度 第7次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 豊能二次医療圏

項目	中間年(2020年)までの取組み (計画より転記)	2020年度の実施内容 (左記取組み内容を記載)		次年度以降の取組み予定
		取組み内容	着手状況 (◎:実施 ○:今年度実施予定 △:次年度以降実施予定)	
地域医療構想	「大阪府豊能保健医療協議会」等において、「新公立病院改革プラン」、「公的医療機関等2025プラン」を策定する病院を中心に、各医療機関が地域で担う役割を確認し、地域で必要な医療機能、連携方策を検討します。	豊能医療・病床懇話会や豊能保健医療協議会を開催し、病院プランや病床機能報告等の最新の医療データ等をもとに、医療提供体制の課題について検討を進めます。(医療病床懇話会R2.1/14、保健医療協議会2/4開催予定)	◎	病院連絡会や医療・病床懇話会ならびに保健医療協議会等を開催し、地域で必要な医療機能、連携方策について検討します。
	保健所が、保健所管内の病院関係者に対して、医療提供体制の現状と病床機能報告の結果から特に不足する病床機能を情報提供し検討する場を持ち、医療連携機能を強化するとともに自主的な取組を支援します。	病院連絡会の開催が新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)により開催見合わせとなったため、令和元年度に協議が継続となっている病院においては個別調整および協議を行っていく予定です。	○	病院連絡会を開催し、医療提供体制の現状・課題について協議し、医療連携強化、病院の自主的な取組みを支援します。
在宅医療	圏域において安定した在宅医療を提供するため、病院を中心とした関係機関同士の連携会議等で、中核的な病院が在宅療養後方支援病院となるよう後方支援体制を整備する等の取組を支援します。	在宅医療における病病連携や病診連携等医療機関間の連携促進に向けて、会議や研修会を開催しました。豊中市では在宅療養中の患者が急変した場合の入院受け入れについてICTを用いた空床情報の共有化システムの検討を行いました。	◎	在宅医療懇話会、病院連絡会等を開催し、在宅医療の取組み事項の現状把握や対策を検討します。
	入退院時において関係機関とのスムーズな連携を図るため、情報共有の取組を支援します(各種マニュアルの作成・見直しと周知、ICT導入等)。	入退院時の連携構築に向けて、入退院のガイドラインや支援ツールの普及や入退院時の情報連携シートの導入を図り連携促進に取り組んでいます。また効率的な情報連携に向けたICTの導入について、各市町、医療機関、介護等の多職種間でスムーズに活用できるように検討しています。	◎	在宅医療懇話会において、各市町及び圏域内の取組み状況を確認します。また、課題の抽出・共有などの支援をします。
	関係機関の連携体制を構築するため、在宅医療に従事している関係者が市町の連携会議等に参画できるよう、保健所が橋渡し役になり進めていきます。	医療及び介護関係機関が参画する会議において、在宅医療・介護連携の現状把握や課題抽出を行い、在宅医療の連携体制について検討し取組を進めています。	◎	各市町において在宅医療関係者を含めた連携会議を開催し、連携体制の構築を進めていきます。
	24時間365日の在宅医療推進のための薬剤師会を中心とした薬局ネットワーク化の取組を支援します。	各市町の薬剤師会において、勉強会等を通じてネットワークの構築に向けて検討しています。	◎	在宅医療懇話会や薬事懇話会で検討し、ネットワーク化の取組みを支援します。
	住民の生活圏を考慮し、府外の医療機関との広域連携の構築に努めます。	地域医療に関する会議等での情報収集を通じて周辺市町を含めた広域連携の構築に努めています。	◎	隣接する府外の医療機関との連携構築を図ります。
がん	豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会で、がんの専門医療提供体制の構築、地域医療連携、がん患者の就労支援等を行っています。	各部会(がん登録部会、緩和ケア部会、がん検診情報部会、がん地域連携部会、がん研究部会)において年間計画を策定し、がん医療体制、がん登録の精度管理、がん患者の心の支援等の課題に取り組んでいます。	◎	豊能医療圏がん医療ネットワーク協議会を開催し、進捗状況を確認し取組みを推進します。
脳卒中等の脳血管疾患、心筋梗塞等の心血管疾患、糖尿病	脳血管疾患については、国立循環器病研究センターが事務局となり開催されている地域連携パス会議で、地域連携診療計画の評価及び情報交換・共有を行っています。	豊能圏域脳卒中地域連携クリティカルパス会議を、書面での意見集約での代替や、オンラインにて開催し、FIMデータの集計及びパステータ解析の報告、情報交換・共有を行っています。	◎	引き続き、地域連携クリティカルパス会議を開催し、地域医療の連携体制について検討します。
	心血管疾患については、医療連携を検討する会議等で、慢性心不全を含めた急性期から維持期までの医療連携体制の課題を検討します。	豊能心血管疾患地域医療連携推進会議はコロナ禍で開催見合わせとなったため、豊能心血管疾患地域医療連携推進会議で進めている診療情報提供書の活用状況の調査や委員からの聞き取りより課題を整理し今後の方向性について検討しています。	○	引き続き、地域医療連携推進会議を開催し、医療連携の方法や体制について検討します。
	糖尿病については、医療連携を検討する会議等により、医科歯科連携、病診薬連携等、多職種連携による包括的なケア体制の構築を図ります。	糖尿病診療における微量アルブミン尿検査の実施率向上や病診連携促進に向けて、市域別に糖尿病地域医療連携推進会議を開催し取組みを推進します。(2月)3月には豊能圏域全体会議を開催し、圏域としての認識の共有を図ります。	○	引き続き、各市域毎に市域調整会議、圏域全体会議を開催し、豊能糖尿病地域医療連携推進会議を開催し医療連携体制について検討します。

2020年度 第7次大阪府医療計画PDCA進捗管理票 豊能二次医療圏

項目	中間年(2020年)までの取組み (計画より転記)	2020年度の取組内容 (左記取組み内容を記載)		次年度以降の予定
		取組み内容	着手状況 (◎:実施 ○:今年度実施予定 △:次年度以降実施予定)	
精神疾患	身体・精神合併症患者の受入れ体制について、2015年度より開始された大阪府夜間・休日精神科合併症支援システムの運用状況と、ORION分析システムからみるデータとともに経過を確認していき、課題整理します。	第2回豊能地域救急メディカルコントロール協議会(旧救急懇話会)において、ORION分析システムから精神疾患に関する課題を分析したところ、現在精神疾患のあるケースについて受入れ困難な状況は確認されていませんが、今後も安定的な受入れ体制の整備のため、継続して状況を注視していくことを確認しました。(1/22)	◎	府夜間・休日精神科合併症支援システムの利用状況やORION分析システム、地域精神保健医療福祉資源分析データベース(ReMHRAD)など精神疾患に関するデータを用いて経過を確認します。
	統合失調症、認知症、依存症等、多様な精神疾患にかかる関係機関による協議の場を設け、医療の充実、医療連携推進のために検討します。	精神懇話会はコロナにより開催見送りとなりました。個別ケースを通じた精神保健福祉活動により各機関の現状把握や情報収集を行い医療連携の推進に取り組みました。	◎	精神医療懇話会において、圏域内の課題の抽出や共有、医療の充実に向け検討します。
救急医療、災害医療	救急搬送及び搬送後の医療機関データを分析し、適正な救急医療体制に向けた課題抽出と分析及び評価をしていきます。	今年度よりメディカルコントロール協議会と一体化し「豊能地域救急メディカルコントロール協議会」として実施しています。第1回は、7月に従来のメディカルコントロール協議会の内容で書面開催し、第2回は、ORIONを用いた救急搬送指標及び、医療機関別応需率、実施基準検証の結果から、救急体制について意見交換を実施しました。コロナの感染拡大に伴い救急体制がひっ迫している現状を共有し、コロナの患者受入れ、救急医療体制について、病院を含めた検討が必要等、意見が出されました。	◎	豊能救急メディカルコントロール協議会を年2回開催し、救急体制の現状と課題について意見交換及び情報共有をします。また、医療体制や実施基準に問題のあるD・E判定の実施基準検証を毎月行います。
	市民へ救急の適正利用に関する啓発を行い、救急医療の負担軽減に努めます。	各自治体及び消防本部等ホームページ等で救急車の適正利用の啓発や救急医療相談窓口「救急安心センターおおさか」事業の周知を図ります。また各自治体では救急医療情報キットや救急タグの配布・登録を行い迅速かつ的確な搬送に向けて取り組んでいます。	◎	引き続き、市民への啓発を行い、救急医療の負担軽減を図ります。
	救急告示病院と救命救急センターを中心としたバックアップ体制のもと、精神科疾患合併患者の受入れ促進の対応を検討します。	第2回豊能地域救急メディカルコントロール協議会において、精神疾患のある事案の応需率等とともに、精神科疾患合併患者の受け入れ体制について意見交換を行いました。現在、精神疾患のあるケースについて受入れ困難な状況は確認されていませんが、今後も安定的な受入れ体制を整備するため、府夜間・休日精神科合併症支援システムの周知を図るとともに、継続して状況を注視していくことを確認しました。(1/22)	◎	精神科疾患合併患者の受入れ体制について、精神医療懇話会での協議結果を踏まえながら、現状把握及び課題整理を行います。
	BCP策定が未整備の病院に対し、立入検査等の機会策定の働きかけを行います。	圏域内医療機関のBCP策定状況の調査を行い、現状を把握するとともに、未策定の医療機関にはBCP策定について働きかけを行いました。(11月)	◎	立ち入り検査などの機会を通じて、BCP策定について働きかけを行います。
周産期医療、小児医療	災害時に医療機関と行政等を調整する災害医療コーディネーターと地域災害医療本部長である保健所長とが効率的に連携できるよう役割を明確化し、連携を進めていきます。	豊能二次医療圏大規模災害時医療連携強化プロジェクト研修を令和3年2月に開催予定です。また府災害時健康危機管理支援チーム養成研修(府DHEAT研修)をWEBで参加し保健所職員のスキルアップを図りました。(11/5)またコロナに係る院内発生予防や感染拡大防止のための早期対応が行えるよう、医療機関を対象に研修会や関係機関間の連絡会議を開催し情報交換等を行いました。	◎	引き続き、研修や訓練を実施し、医療機関と行政の連携体制の構築を図り、地域の災害時医療体制の強化を推進します。
	医療的ケアが必要な児の在宅支援体制(訪問診療・訪問看護・レスパイト体制・相談支援事業所等)の充実を図ります。	個別ケースを通じて医療的ケアを担う医療機関や訪問看護ステーション等の支援機関をつなぐとともに拡充に努めています。また、退院時には病院、訪問診療、訪問看護スタッフ等を交えたカンファレンスを行い円滑な在宅療養生活に向けた支援を行っています。	◎	医療ネットワーク会議等を開催し関係機関の連携強化を図ります。
周産期医療、小児医療	関係機関、医療機関との会議を継続的に実施し、連携強化とネットワークの構築をめざすとともに、関係機関と協力し虐待の早期発見にも取り組んでいきます。	医療ネットワーク会議はコロナにより開催見合わせとなりました。市が開催の要保護児童対策協議会や虐待部会に参加し関係機関との情報共有に努め、必要時には個別のケースカンファレンスを行い、役割分担を確認し協力のもと支援を行いました。	◎	医療ネットワーク会議等を開催し関係機関の連携強化を図ります。